

LUCIDA

2.4GHz 4CH OPTICAL FLOW POSITIONING & Wi-Fi FPV

INSTRUCTION MANUAL

ジーフォース ルシーダ ユーザーマニュアル

Ver 1.01

目次

1. 安全上のご注意	
はじめに	02
2. 製品について	
製品仕様	03
内容物	03
機体各部名称	03
送信機各部名称	04
操作モードについて	04
搭載カメラについて	05
オプティカルフローポジショニング	05
操作モードの変更	05
3. フライトの準備	
送信機の準備とLi-Poバッテリーの充電	06
アームの展開・収納	07
プロペラの交換方法	07
プロペラガードの取付け方法	07
機体と送信機の接続(バインド)	08
4. フライトをはじめる	
離陸と着陸	09
基本操作	10
ジャイロリセット	11
スピードの変更	11
オリエンテーションモード	11
トリム調整	12
緊急停止	12
5. アプリとの連携	
スマートフォンとの接続	13
スマートフォンの取付け	14
アプリの説明	14
操作画面の説明	15
スマートフォンからの操縦方法	16
写真・動画の撮影	18
6. サポート情報	
FAQ	19-20
製品サポートについて	21

1. 安全上のご注意

必ずお守り下さい

はじめに

この度はジーフォース LUCIDA(ルシーダ)をご購入頂き、誠にありがとうございます。当製品はWi-Fiカメラを搭載し、手軽に高画質の空撮が楽しめます。また、3軸ジャイロ+加速度センサー、気圧センサーに加え、底部カメラにビジョン(映像)センサーを搭載しており、初めての方でも非常に安定したホバリングが行えます。安全にフライトして頂くため、必ず当説明書を最後までお読み頂き、注意事項をお守り下さい。

フライトについて

- 事前にラジコン製品のフライトが許可されている場所であるか確認して下さい。空港、送電線、鉄道施設、市街地、公共の場所など人の多い場所での飛行はおやめ下さい。天気の良い日中、目視の範囲内でのみフライトし、暗くなったり天候の悪い日には飛ばさないで下さい。
- 電波障害に気をつけて下さい。他の電波使用機器からの影響により、ラジコン用の電波が干渉を受ける場合があります。物理的にも電波的にも障害となる物が無い、見晴らしの良い広いエリアが理想的です。万が一の突発的に起こる電波障害を考慮し、常にあらゆるリスクに備えて下さい。
- プライバシー確保へご配慮下さい。本製品にはカメラが搭載されています。録画/撮影した映像の対象によってはプライバシーの侵害となる恐れがあります。事前に周囲をよく確認していただき、プライバシー確保へご配慮下さい。

ケガにご注意下さい

- 本製品の対象年齢は12歳以上です。
- 回転しているプロペラは大変危険です。機体を人に近づけたり、ハンドキャッチは絶対に行わないで下さい。
- 飛行前には必ず機体を点検して下さい。飛行後も必ず機体を点検し、異常が認められる場合は修理を行うまで絶対に使用しないで下さい。

本製品はLi-Poバッテリーを採用しています

Li-Poバッテリーは小型、軽量、大出力の反面、安全に使い続けるためには適切な状態を保ち、特性上のリスクを考慮して使う必要があります。以下の注意事項を守り、正しくご利用下さい。

- 電圧降下のサインやパワー感の低下が現れたら使用はやめて充電して下さい。
- バッテリーに変形や匂い等の異常を見つけた場合、絶対に使用せず、廃棄して下さい。
- バッテリーは絶対に分解、改造をしないで下さい。
- 必ず専用の充電器を使い、充電中はその場から離れず、異常事態に備えて下さい。
- 充電完了後は必ず充電器から抜いて下さい。
- 利用後は必ず機体から外し、ある程度充電後、不燃性のケースに収めて下さい。
- 夏場の車内など60度以上の高温状態に放置すると破裂、発火の危険性が有ります。涼しく温度変化の少ない場所に保管して下さい。
- 長期保存の場合は満充電で保管せず、50%~80%程度の充電量にして下さい。保管後は1ヶ月に一度、充電→50%~80%まで減らす作業を繰り返して下さい。
- 使用できなくなったバッテリーは3%~5%程度の食塩水に数週間沈めて放電して下さい。容量がゼロであることを確認し、自治体のルールに則り廃棄をお願いします。

2. 製品について

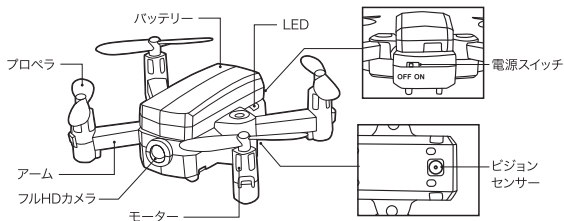
製品仕様

送信機	2.4GHz 4ch MODE1/MODE2切替え仕様	
全長	56mm	充電時間 約60分
全幅	76mm	飛行可能時間 約6分
全高	29mm	電波到達距離 約35m(送信機)/約20m(Wi-Fi)
重量	34g(バッテリー含む)	動画解像度 1920×1080 (MP4形式)
プロペラ全長	41mm	写真解像度 1920×1080 (JPG形式)
バッテリー	3.7V 300mAh	レンズ仕様 広角120°ワイドレンズ

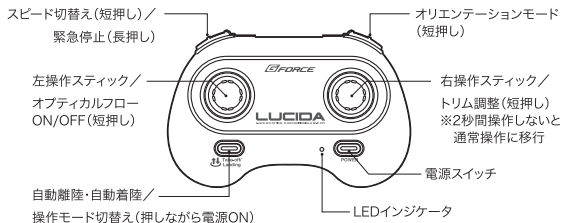
内容物



機体各部名称



送信機各部分名称



操作モードについて

当製品に付属の送信機では、ドローンの操作方法で主流のモード1とモード2のどちらの操作方法でもお使い頂く事ができます。

それぞれのモードでスティックを動かした時の機体の挙動が大きく変わってきます。ドローンの操作が初めての方は、操作方法をよく確認の上、操縦に臨んで下さい。

モード1(右スロットル)



モード2(左スロットル)

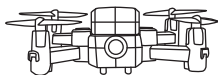


搭載カメラについて

当製品は機体前方に高解像度カメラを搭載しており、Wi-Fi通信によってスマートフォンやタブレット端末のアプリ上からリアルタイム映像の確認、写真・動画撮影が行えます。

動画解像度 1920×1080 (MP4形式)

写真解像度 1920×1080 (JPG形式)



オプティカルフローポジショニング

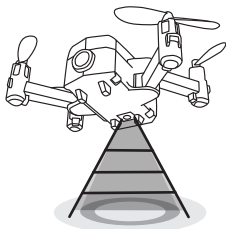
当製品は底部カメラにビジョン(映像)センサーを搭載しており、捉えている映像のズレを検知して、姿勢を自動制御するオプティカルフローポジショニングにより、安定した姿勢制御を可能にします。

ビジョンセンサーのON/OFF

送信機の左スティックを押すと、「ピーツ」と音が鳴り、オプティカルフロー機能のON/OFFの切替えができます。

オプティカルフロー機能がOFFの時は機体のLEDが点滅します。

オプティカルフロー
ON/OFF (短押し)



操作モードの変更

送信機の操作モードは標準でモード1(右スロットル)に設定されています。

モード2(左スロットル)で使用する場合は、操作モード切替ボタンを押しながら電源を入れて下さい。送信機から「ピーツ」と音がして、モード2に切り替わります。

操作モード切替ボタン
(モード1⇒モード2)



- 操作モードの変更は記憶されません。モード2で使用する場合は、電源を入れる度に操作モードの変更を行って下さい。

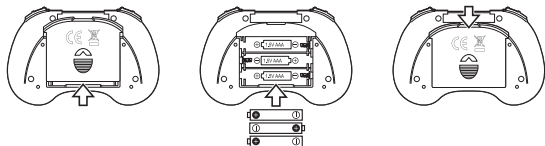
3. フライトの準備

送信機の準備とLi-Poバッテリーの充電

送信機に電池をセットする

送信機は単四乾電池3本(別売)が必要です。下図に従って正しい向きでセットします。

- ①電池カバーを外します ②単四乾電池を3本、図のように正しい向きにセットします ③カバーをしっかりと閉じます



- 送信機に使用する単四電池はアルカリ乾電池をご使用下さい。充電式電池やマンガン電池を使用すると、電圧が異なるため、正常に使用できない場合があります。

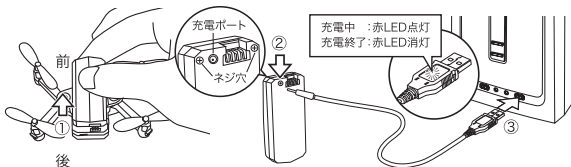
Li-Poバッテリーを充電する

使用する前に必ず充電して下さい。

充電しないでフライトすると、過放電状態となり充電する事ができなくなります。

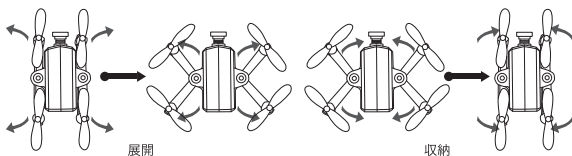
また、Li-Poバッテリーは使い方を誤ると、膨張・破裂または発火する可能性があります。以下の説明と、2ページの「安全上のご注意」を守り、正しくお使い下さい。

- 機体からバッテリーを取り外します
- バッテリーの充電ポートに充電ケーブルのコネクタを挿します
- USB充電ケーブルのUSB端子をUSBポートに挿します
充電中は充電ケーブル内部のLEDが点灯し、消灯すると充電完了です
- 充電完了後は速やかにバッテリーとUSB充電ケーブルを外して下さい



アームの展開・収納

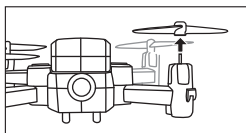
下図の方向にアームを回転する事で、機体の展開、収納ができます。



プロペラの交換方法

プロペラには向きがあります。下図の手順で正しくプロペラを取付けて下さい。

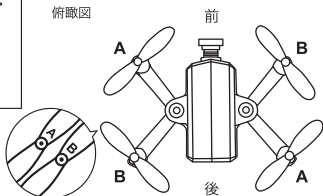
①プロペラを上引き抜きます。



②プロペラに刻印されているAまたはBを確認し、指定の位置に上から押し込んで下さい。

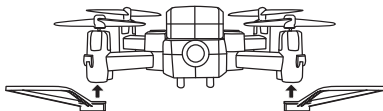
俯瞰図

裏面にAまたはBの刻印があります



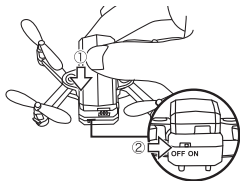
プロペラガードの取付け方法

下図を参照し、プロペラガードを取付けます。プロペラガードの向きに注意し、上までしっかりと押し込んで下さい。4本とも同様に取付けます。



機体と送信機の接続(バインド)

フライトを始めるには、機体と送信機をリンクさせる必要があります。このリンクさせる作業をバインドと呼びます。以下の手順に従い、正しくバインドを行って下さい。



1. バッテリーを接続し、機体の電源を入れる

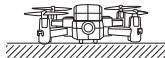
バッテリーを機体上部に「カチッ」と音がするまで差し込みます。機体の電源スイッチをONにすると、機体のLEDが高速で点滅し、電源が入ります。



2. 機体を水平な場所に置き、送信機の電源を入れる

機体を水平な場所に置き、安全のため1m以上離れてから送信機の電源を入れます。

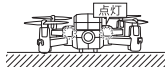
※モード2で使用する場合は5Pの操作モードの変更を参照して下さい。



3. 送信機の右スティックを上→下と動かします

送信機から「ピッ・ピーツ」と音がし、機体のLEDが点滅から点灯に変わればバインド完了です。

※モード2で使用する場合は操作モードを変更した後、左スティックを上→下と動かします。



- バインドを行う前に、機体のバッテリーを充電して下さい。
- 本体に破損が無いか、プロペラが4枚とも欠けや曲がりがないかを確認します。
- バインド中は機体を動かさない様ご注意ください。
- フライト終了後は必ず機体と送信機の電源を切り、機体からバッテリーを抜いて下さい。
- 長期間使用しない場合は、送信機から乾電池を抜き、機体のバッテリーは満充電後1~2分程フライトさせ、ある程度減った状態で保管して下さい。

4. フライトをはじめる

離陸と着陸

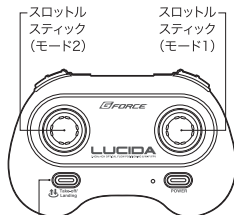
自動離陸 / 自動着陸

自動離陸:

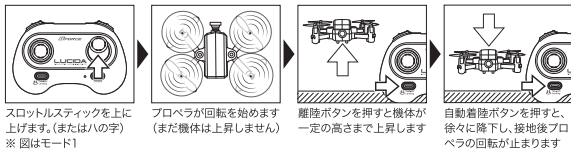
1. バインドが完了した状態でスロットルスティックを上を上げる、またはハの字にするとモーターが回転し、アイドルリング状態になります。
2. その状態で自動離陸ボタンを押すと、機体が一定の高度まで上昇します。

自動着陸:

1. 空中で自動着陸ボタンを1回押します。
2. 徐々に降下してくるので、舵を切りながら任意の場所に誘導します。
3. 地面に接地後、停止するまで数回バウンドする事もあるので、プロペラが完全に停止するまで目を離さないで下さい。



※自動着陸中にスロットル操作をすると、自動着陸がキャンセルされます。



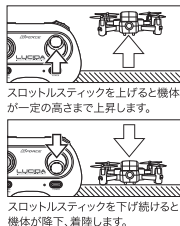
手動離陸 / 手動着陸

手動離陸:

1. バインドが完了した状態でスロットルスティックを上げるとモーターが回転し、アイドルリング状態になります。
2. その状態でスロットルスティックをもう一度上上げると、機体が一定の高度まで上昇します。

手動着陸:

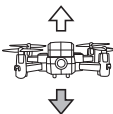





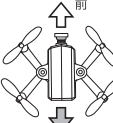
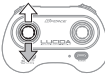
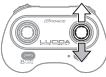
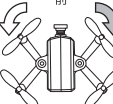


1. スロットルスティックを下に下げると降下します。
2. 機体が着地し、モーターの回転が完全に止まるまでスロットルを下に入れ続けて下さい。



基本操作

離陸後は左右のスティックを使い、機体を操縦します。操作モードによって操縦の仕方が異なりますので、下記操作方法をよくご確認の上、ご使用下さい。

操作モードは標準ではモード1で動作します。

操作方向	モード1	モード2	
			上昇・降下(スロットル) スティックの上下操作で機体の 上昇、降下を行います。スティック を離れた位置で高度を維持しま ず。
前  後			左右移動(エルロン) スティックを傾けた方向に機体が 傾き、左右の移動を行います。
前  後			前進・後進(エレベーター) スティックを傾けた方向に機体が 傾き、前後の移動を行います。
前  後			左右旋回(ラダー) スティックを傾けた方向に機体が 回転し、旋回動作を行います。



- 離陸後に機体が1方向に流れて行ってしまう場合は、ジャイロリセットをお試し下さい。
- 急に操作すると危険なので、慣れるまではゆっくり動かすようにしましょう。
- 何も操作していなくても気圧の変化により機体は上下します。室内でご利用の際は、扉の開け閉めなどに因る、気圧の変化にご注意下さい。

ジャイロリセット

フライト中に前後左右に機体の流れ、トリムでも改善できない場合はジャイロリセットを行う事で改善できる場合があります。

1. 機体をフライトできる状態にして水平な場所に置きます
2. 左スティックを右下、右スティックを右下で同時に保持します(図1)
3. 機体のLEDが点滅し、送信機から「ピーツ」と音がしたらスティックから指を離し、機体のLEDが点灯に変われば完了です



スピードの変更

スピード切替えスイッチを押すとフライトスピードを変更する事ができます。スイッチを押すごとにモードが切り替わり、3段階のスピード調整が可能です。
(初期状態はノーマルモードになります)

スピード切替えスイッチ(短押し)



- 「ピピピッ」.. ハイスピードモード (上級者向け)
- 「ピピッ」... ミドルスピードモード (中級者向け)
- 「ピッ」..... ノーマルモード (初級者向け)

※ 通常より機敏な動きができるようになりますが、操縦難易度が上がります。十分に練習を行ってからお試しください。
※ 長押しすると緊急停止になるのでご注意ください。

オリエンテーションモード

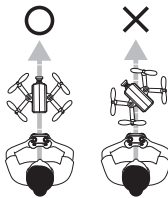
オリエンテーションモード中は機首の向きに関係なく、エルロンスティックを左右に動かすと機体は左右に、エレベータースティックを前後に動かすと前後に動くようになります。

1. 機体をフライトできる状態にします
2. 機体を水平な場所に置き、機体と送信機が一直線に並んだ状態で、オリエンテーションボタンを押して下さい
3. 送信機から「ピッ」という動作音が鳴り、機体のLEDがゆっくりと点滅すれば、オリエンテーションモードが有効になっています
4. 再度オリエンテーションボタンを押すとキャンセルできます



オリエンテーション
スイッチ(短押し)

機首が前方を向いた状態で行う



トリム調整

機体が上空に上がった際、スティック操作をしていない状態で前後左右に移動してしまうズレをトリムボタンで微調整することができます。

トリム調整は、機体が1m以上の高さにある状態で調整する必要があります。地上付近では、自身が出す風の影響により正しく調整できないため、必ず1m以上の高度で行います。

1. 機体を1m以上の高さでホバリングさせる
2. 右スティックを押し込むと「ピーツ」と音がして、送信機のLEDインジケータが高速点滅し、トリム調整モードに入ります
3. トリム調整モード中に左右スティックの、エルロンとエレベータを操作する事でトリム調整が行えます
4. 再度右スティックを押し込む、または2秒以上操作をしないと、通常の操作モードになります



トリム調整時の重要な注意点	機体が前進または後進してしまう	機体が左右に移動してしまう	移動する方向と反対に数回動かして調整します。
<p>1m以上の高さ</p>	<p>機体が前進または後進してしまう</p>	<p>機体が左右に移動してしまう</p>	<p>移動する方向と反対に数回動かして調整します。</p>



- トリム調整は記憶されません。電源を入れるたびにニュートラルの状態にリセットされます。

緊急停止

緊急停止スイッチを長押しすると「ピーツ」とアラーム音がしてモーターが緊急停止します。

緊急停止スイッチ(長押し)



5. アプリとの連携

スマートフォンとの接続

本製品はタブレットやスマートフォンと連携できるWi-Fiカメラを搭載しています。以下の手順でモバイル機器と接続する事で、リアルタイムの映像を見たり、写真や動画を撮影できるようになります。

アプリのインストール

お手持ちのスマホに専用アプリ「LUCIDA-DRONE」をインストールします。

下記QRコード、またはAppStoreおよびGooglePlayから「LUCIDA-DRONE」を検索し、ダウンロードとインストールを行って下さい。



【iOS】



LUCIDA-DRONE
iOS: 8.0以降、
Android: 4.2以上



【Android】

Wi-Fi接続

1. 機体をフライトできる状態にします。
2. 接続する機器のWi-Fi設定に入ります。
3. 新しく検出したアクセスポイント「lucida-XXXXXX」を選択します。

※接続時にエラーが表示される場合は、エラーの内容を元に端末のWi-Fi設定を見直し、改善しない場合は各メーカーへお訪ね下さい。



アプリの起動

1. インストールした「LUCIDA-DRONE」アプリを起動します。
2. 初期画面の「PLAY」をタップします。
3. 操作画面に映像が出てくれば接続完了です。



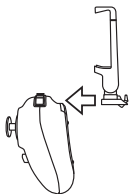
初期画面



操作画面

スマートフォンの取付け

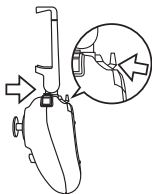
付属のスマートフォンホルダーを取り付ける事で送信機にスマートフォンをセットできます。



①スマートフォンホルダーを送信機上部の溝に「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。



②スマートフォンを取り付け、しっかりと挟み込みます。



③取り外す時は図のツメの部分を押し上げながら手前に引いて取り外して下さい。



- ご使用前にスマートフォンがしっかりセットされているか、フライト前によく確認して下さい。使用中にスマートフォンが落下し、破損する恐れがあります。本製品の使用によって生じるいかなる損失、損害に関して弊社は一切責任を負いません。

アプリの説明

初期画面

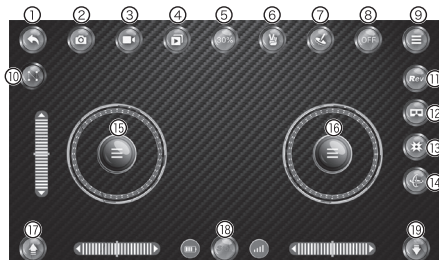
初期画面から「A」のアイコンをタップすると、簡易ヘルプに移動し、アプリの基本操作が確認できます。

「C」のアイコンをタップすると、アプリの基本設定画面に移動し、操作モードの変更等、各種設定を行うことができます。

「B」のアイコンをタップすると操作画面に移動し、撮影、操縦等の各種操作が行えます。



操作画面の説明



※画面は開発中の物です。

- ① 前の画面に戻る
- ② 写真撮影
タップすると静止画が撮影できます
- ③ 動画撮影
タップで録画開始。もう一度タップすると録画が終了し保存されます
- ④ 撮影データ閲覧
撮影した写真、動画を確認できます
- ⑤ スピードの変更
機体の動作速度を3段階で変更できます。
30%(低速)→60%(中速)→100%(高速)
- ⑥ ジェスチャーコントロール (18P参照)
ジェスチャーコントロール撮影機能のON/OFF
- ⑦ チルト操作モード (17P参照)
スマホの傾きで操作するモードにします
- ⑧ 操作パネルのON/OFF
スマホで操作する場合はONにします
- ⑨ 追加メニューの表示/非表示
⑪～⑭のメニューを表示します
- ⑩ トラッキングフライトモード (17P参照)
指でなぞったルートで飛行するモードです
- ⑪ 映像の上下反転
映像が逆になっている時に上下反転します。
- ⑫ VRモード
画面が左右分割表示されます
- ⑬ オリエンテーションモード (11P参照)
機首の向きに関係なく操作できます
- ⑭ ジャイロリセット
ジャイロキャリブレーションを行ないます
- ⑮ 左操縦桿
機体の操縦に使います
- ⑯ 右操縦桿
機体の操縦に使います
- ⑰ 自動離陸
タップすると機体が浮上し自動離陸します
- ⑱ 緊急停止
プロペラの回転が止まり緊急停止します
- ⑲ 自動着陸
タップすると機体が降下し自動着陸します

※アプリの画面、操作メニューは開発中の物です。バージョン等により変更される場合があります。

スマートフォンからの操縦方法

スマートフォンから操縦を行う場合は、送信機とバインドされていない状態で接続して下さい。

はじめに操作画面で①をタップし、操作パネルを表示させます。機体のLEDが点滅から点灯に変われば操縦可能な状態になります。



離着陸と緊急停止

自動離陸

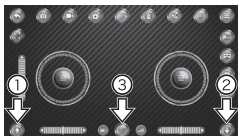
操縦可能な状態で①の自動離陸アイコンをタップすると機体が上昇し、一定の高度でホバリングします。

自動着陸

フライト中に②の自動着陸アイコンをタップすると、機体が降下し着陸します。

緊急停止

③の緊急停止アイコンをタップすると、プロペラの回転が止まり、緊急停止します。



基本操作

操作方向	モード1	モード2	
			上昇・降下 (スロットル)
			左右移動 (エルロン)
			前進・後進 (エレベーター)
			左右旋回 (ラダー)

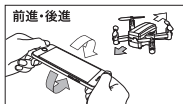
チルト操作モード

スマートフォンを水平に持ち、チルト操作モードをONにします。自動離陸で離陸後、前進後進、左右移動、この4方向の動作がスマホの傾きに連動して動作します。

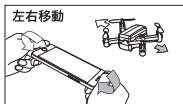
上昇・下降、左右旋回の操作はパネルのタッチ操作で行います。



アイコンが黄色に変われば、チルト操作モード。



スマホを奥に傾けると前進、手前に傾けると後進します。



スマホを左に傾けると左に、右に傾けると右にスライドします。

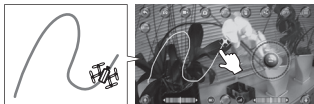
トラッキングフライトモード

操縦可能な状態でトラッキングフライトモードをONにすると、トラッキングフライトモードになります。自動離陸で離陸後、指で描いたルートに沿って飛行します。

上昇・下降の操作はパネルのタッチ操作で行います。



アイコンが黄色に変われば、トラッキングフライトモード。



スマホに描いたルートと同様の軌跡で機体が飛行します。

写真・動画の撮影

スマートフォンとの接続中、アプリ上のアイコンをタップする事で写真や動画の撮影が行えます。撮影したデータはスマートフォンに保存されます。

① 写真撮影

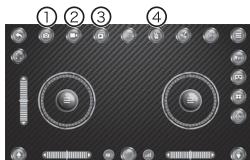
タップすると写真(静止画)が撮影されます。

② 動画撮影

タップで録画開始。もう一度タップすると録画が終了し保存されます。

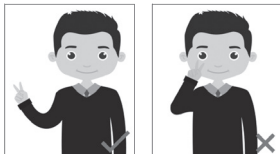
③ 撮影データ閲覧

撮影した写真、動画を確認できます。



④ ジェスチャーコントロールで撮影する

特定のモーションに反応して自動で撮影するジェスチャーコントロール機能を搭載しています。カメラに向かって下図のモーションを行う事で自動で撮影が開始されます。



写真撮影

カメラから2m程度の距離で、片手でVサインをすると3秒のカウントダウンの後に写真が撮影されます。



- カメラの正面に立ち、2m程度離れた状態で行って下さい。
- 暗い場所、逆光ではジェスチャーの認識が難しくなる場合があります。

6. サポート情報

FAQ

Q1. 機体にバッテリーをつないでも反応しない

- A1. 機体側のコネクタとバッテリーのコネクタが正しく接続されているか確認して下さい。
- A2. バッテリーは正しく充電されていますか？他のバッテリーでお試し下さい。
- A3. 機体についているON/OFFスイッチがONになっているか確認して下さい。

Q2. 機体が墜落・接触などによって反応しなくなった

- A1. 一旦機体からバッテリーを外し、再度バッテリーをつなぎ直してして下さい。
- A2. 機体の受信機は精密機器ですので、強い衝撃を受けると破損する場合があります。

Q3. 今まで問題なくフライトできていたが、突然不安定になった

- A1. LiPoバッテリーが劣化してくるとフライト時間が極端に短くなったり不安定な挙動になる場合があります。バッテリーを交換して下さい。
- A2. プロペラに変形や破損がないか確認し、問題がなければ一旦着陸させ、11Pの[ジャイロリセット]を行ってみて下さい。

Q4. フライト中、振動してしまう

- A1. ポディ・プロペラに破損や変形があると振動につながります。破損・変形がある場合は対象部位を交換して下さい。

Q5. プロペラを換えたら離陸できなくなった

- A1. プロペラの向きを正しく取り付けないとフライトできません。プロペラの取付位置に誤りがないか、7Pの[プロペラの交換方法]でご確認下さい。

Q6. 1つだけモーターが回らなくなってしまった

- A1. モーターはフライトごとに劣化していきますので、交換が必要になります。モーターの回転方向に注意し、モーターを交換して下さい。

Q7. 他の送信機で飛ばすことはできますか？

- A1. 当製品の送信機は専用品ですので、他の送信機をご使用頂くことはできません。

Q8. 修理・調整を行ってもらえますか？

- A1. 恐れ入りますが、弊社では修理・調整は行っておりません。有償にて新しい商品と交換することは可能です。定価の60%（別途送料等ご負担頂きます）の価格で提供致します。販売店様または弊社サポートへお問い合わせ下さい。

Q9. 購入したばかりだが最初から全く動かないまたは最初から破損箇所がある

- A1. ご不便をお掛けし申し訳ございません。ご購入頂いた販売店様にまずご相談頂けますようお願い致します。必ず販売店様が発行された日付入りの領収書・納品書等をお手元に保管頂けますようお願い致します。

Q10. 機体単体で購入できないの？

- A1. 現在のところ機体単体での発売はございません。

Q11. オリエンテーションモードがうまく動作しません

- A1. 機体を飛べる状態にした後、地上で機体と送信機が同じ方向を向き、一直線に並んだ状態でオリエンテーションボタンを押して下さい。

Q12. 屋外でのフライトはできますか？

- A1. はい、可能です。ただし、風があるときは紛失や墜落の恐れがありますから十分ご注意ください。また、フライトさせる場所は取扱説明書に従い、安全であることを十分ご確認の上お楽しみ下さい。

Q13. 屋外で飛ばすのに免許や申請は必要ですか？

- A1. 本製品は【200グラム未満】になり、航空法で定める「無人航空機」には該当しません。映像伝送も2.4G帯Wi-Fi電波を利用しているため免許や申請は必要ありませんが、楽しく製品ご利用いただくために、取扱説明書の内容に従い、安全とプライバシーにご配慮下さい。

Q14. Android端末で、アプリケーションに映像が映らない

- A1. 機体から出ているWi-Fiと接続できているにも関わらず、映像を確認できない場合は以下の方法をお試し下さい。

「Wi-Fiはインターネット未接続です」というメッセージ(図1)をタップすると「接続を維持しますか?」というメッセージ(図2)が表示されるので、「はい」と回答する。



図1



図2

- A2. 端末を機内モードにして頂いた状態でWi-Fiの接続を改めて行い、アプリケーションをご確認下さい。
- A3. 端末に入っているSIMカードを抜いた状態でWi-Fiの接続を行い、アプリケーションをご確認下さい。
(※SIMカードを抜いたことによる損害・損失に関して、弊社は一切責任を負いません)

保証・修理規定

保証については、初期不良品のみに対応となります。**保証を受ける際には領収書、レシート、納品書など購入時期を証明するものが必要です。**

購入時期を証明できない場合には初期不良品としての対応は致しかねます。初期不良品につきましてはお手数ではございますが、弊社へお送り頂く前に事前に電話にて弊社までご連絡頂けますようお願い致します。

ご使用後の製品の破損などによる修理依頼は新品への有償交換とさせていただきます。

※税込定価の60% (送料・代引手数料別)

初期不良交換、修理有償交換ともに付属品等を完備のうえでお送り下さい。欠品があった場合、交換対応をお断りさせていただくことがあります。ご不明な点は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

製品カスタマーサポート：03-6206-0059

電話受付：月曜日～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

受付時間：10:00～18:00

（弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい）

<随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照下さい>

www.gforce-hobby.jp

販売元：株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階



お問い合わせ先

製品カスタマーサポート： **03-6206-0059**

電話受付：月曜日～金曜日（祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

受付時間：10:00～18:00

（弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承下さい）

※取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。

※最新情報は弊社WEBサイト（www.gforce-hobby.jp）でご確認下さい。



輸入販売元：株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階

当社に無断で複写・転写・転載を禁じます

Copyright © 2019 G FORCE, Inc. All Rights Reserved

